

Flags

自動認識の世界をより身近に

vol.102 2013
11月号

意外と知られていない、こんな機能まである 『2次元コード ハンドスキャナ』

現在、社会の様々な場面で活用されている2次元コードですが、それを読み取るスキャナには意外と知られていない便利な機能が搭載されています。また、カメラで撮影した2次元コードの画像を基に埋め込まれた情報を解析する仕組みのため、シンボルの印字状態や下地素材等の状況によっては最適な2次元コードスキャナのタイプを選定する必要もあります。

今号では、そんな2次元コードハンドスキャナの色々な機能を紹介します。

便利な機能

まず、2次元コードハンドスキャナに搭載されている便利な機能について紹介します。













お使いのスキャナに搭載されている機能をもっとよく知れば、上位システムのプログラム工数が軽減できる場合も少なくありません。標準で搭載されている機能ですので、是非有効に利用していただければと思います。

◎初級編

①シンボルと桁数の指定

様々な種類のバーコードが存在していますが、世界標準とされるバーコードは6種類、2次元コードにおいては9種類も存在し、用途や印字環境によって最適なシンボル(※1)を選択する必要があります。

<国際規格となっているバーコードの種類>

| | JAN/EAN | Interleaved 2of5 (ITF) | Codabar (NW7) | Code39 | Code128 | RSS14 (GSI-Databar) |
|------|---|---|---|---|---|---|
| シンボル |  |  |  |  |  |  |
| | PDF417 | DataMatrix | QRCode | MaxiCode | AztecCode | UCC/EAN コンポジット |
| シンボル |  |  |  |  |  |  |

◎2次元コードには他に、MicroQR、MicroPDF、Aztec full の3種類があります。



マルチアプリケーション 2次元コード ハンディスキャナ THIR-6780シリーズ

2種類の照明を搭載する事により、汎用スキャナでありながら、ラベルから基板 DPM の読み取りまで幅広い読み取りに対応可能。新機能として「ファンクションボタン」を搭載して、スキャナ本体だけで照明や読み取りモードの切り替えが可能。(DPM=Direct Part Marking)

ことが出来ます。

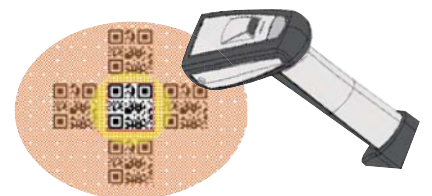
どのスキャナで読み取ったのかを判断するための識別記号を付加したり [STX][ETX] など、利用中のパソコンや PLC (プログラマブルロジックコントローラー) のデータフォーマットに合わせる場合などに利用します。

◎中級編

④中心読みモード

2次元コードスキャナはエリアで読み取るので、複数のバーコードが密集して印刷されている場合に、どれを読み取ったのかが分かりません。

中心読みモードに設定するとカメラの中心に近いバーコードを優先して読み取ることが出来ます。



読み取りエリアの中心に近いシンボルから読み取る

⑤連続読み取りモード／紙面検知モード

読み取りトリガを押さなくても自動でシンボルを読み取ります。

オートスタンドを利用して、ハンズフリーでバーコードを読み取ることが出来ます。

検品業務や書籍管理などで便利に利用されている機能です。



オートスタンドとハンズキャナ

⑥トリガ ON モード

トリガを押している間は連続してシンボルの読み取りを行います。

⑦CapsLock、大文字／小文字変換

キーボードの状態に関係なく、読み取ったバーコードデータを設定に従って大文字もしくは小文字に強制的に変換して出力します。

(HID インタフェースのみで有効な設定です。)

◎上級編

⑧複数枚読み取り機能

スキャナの読み取りエリアに入った複数のシンボルを一括で読み取れます。

アパレルタグ、書籍、伝票など、複数のバーコードが印刷されていても一回のトリガで読み取りが出来るので業務効率が向上します。



12345,ABCDE,4903532543136

⑨プリセットモード

予め登録しておいたデータと一致したデータのみ読み取りを行います。

◎特殊な機能

⑩画像処理機能

ダイレクトマーキング対応の2次元コードスキャナになると、画像処理機能や照明の照度コントロールなどさらに高度な設定機能が用意されておりますが、ダイレクトマーキング関係は又の機会に特集したいと思います。

◎MTS ならではの機能

⑪印字品質の出力

読み取ったデータに印字品質データを付与して出力されます。

バーコードデータと共に印字品質データを監視する事により、印字品質の低下と傾向が判断できるので、読み取りエラーが発生する前にプリンタやインクジェットなどの印字品質を改善する事が可能です。

簡易的な印字品質チェッカーとして利用する事も可能です。

⑫本体だけで機能切替

新型の THIR-6780 シリーズでは、スキャナ本体だけで、各種の設定が切替できる「ファンクションボタン」を搭載しております。ファンクションボタンを押しながら、起動するだけで HID と仮想 COM インタフェースを切り替えたり、ボタンを押す回数により表1の設定が簡単に切り替えることができます。

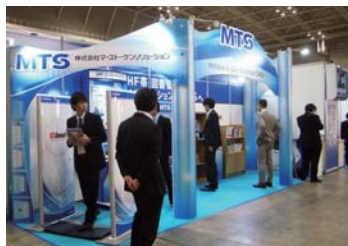
| 動作モード(表1) | |
|-----------|-----------------------|
| 1 | 照明の切換え(同軸/斜光/消灯) |
| 2 | 連続読みモードへ切換え |
| 3 | 紙面検知モードへ切換え |
| 4 | 任意のキャラクタ送信(Enterキーなど) |
| 5 | 読み取り画像の転送 |
| 6 | ユーザが登録した任意の読取り設定を切換え |

『第15回図書館総合展』出展のご報告

2013年10月29日(火)～31日(木)までの3日間、パシフィコ横浜で開催された第15回図書館総合展に出展いたしました。

図書館総合展とは、図書館を使う人、図書館で働く人、図書館に関わる仕事をしている人達が、“図書館の今後”について考え、「新たなパートナーシップ」を築いていく場です。当社は自動認識の総合メーカーとして最新の技術を提供し、煩雑な作業を合理化することで貢献を目指しています。

おかげさまで、非常に多くのご来場をいただき、盛況に終えることができました。ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。



当社出展ブースの様子



今回の新製品「UHF帯自動貸出機」



UHFハンディターミナルによる一括読み取りのデモ

←大好評でした。

図書館総合展にて

次号予告

2013年12月号は・・・

『用途に合わせてベストチョイス
様々な2次元コードスキャナ』
をご紹介します。

Flags 12月号は 12月 9日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags／フラグス

2013年11月号 Vol.102 2013年11月8日発行

編集・発行 株式会社マーストーケンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

| | | |
|--------|------------------|------------------|
| 本 社 | 東京都新宿区新宿1-8-5 | 新宿御苑町ビル |
| | Tel:03(3352)8522 | Fax:03(3352)8579 |
| 名古屋営業所 | Tel:052(565)9091 | Fax:052(565)9094 |
| 大阪営業所 | Tel:06(6353)5476 | Fax:06(6353)6125 |
| 福岡営業所 | Tel:092(441)3638 | Fax:092(441)3639 |
| 日立営業所 | Tel:029(276)9555 | Fax:029(276)9556 |

MTS 株式会社マーストーケンソリューション

http://www.mars-tohken.co.jp